

2020. 4. 21

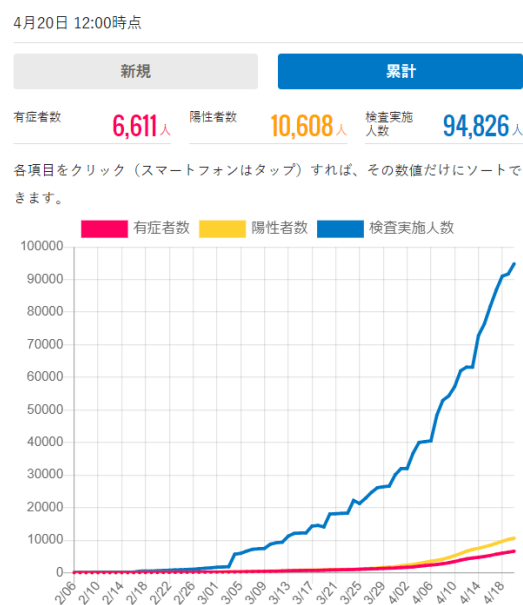
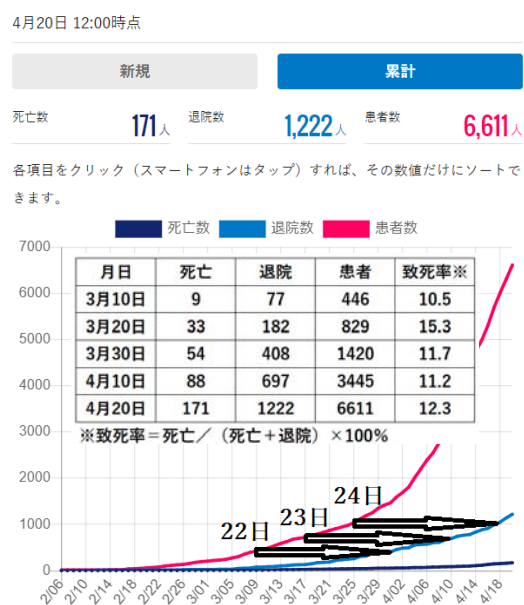
畑 啓之

新型コロナウイルスでの入院期間はほぼ3週間 致死率は約12%と推定

以下のグラフは毎日新聞社の「国内感染の状況 (<https://mainichi.jp/covid19>)」より引用した。クルーズ船を含まない数値である。4月20日時点の累計で感染者数が1万人強で、そのうち6611人が有症者である。

下のグラフ左は累計で6611(有症者)が入院し、その内の171人が死亡し、1222人が退院していることを示している。グラフ中で赤線より、青線と黒線を合計した線(図中には表記していない)まで水平の矢印を引くと、その矢印の長さは約23日となる。この矢印の長さは、入院すると死亡あるいは退院までに平均して約3週間が経過することを示している。

なお、図中に致死率を示したが、約12%と厳しい数字となっている。この致死率の定義は死亡者数/(死亡者数+退院者数)×100%である。この致死率はWHOの定義では、死亡者数/感染者数×100%となっている。4月20日時点でこの定義に従って計算すると171/10608×100=1.6%となり、下に示した国々の4月19日時点での致死率よりもはるかに低い値となっている。



WHO 基準による致死率(感染者数の多い国順)

米国 5.3%、スペイン 10.5%、イタリア 13.2%、ドイツ 3.1%、英国 13.5%、フランス 17.3%、中国 5.6%